

# 情報セキュリティ教育事業者連絡会 が目指すもの

情報セキュリティ教育事業者連絡会  
代表 与儀大輔

## 本日のアジェンダ

- あるセキュリティ営業の苦悩
- 情報セキュリティ人材育成の現状
- 連絡会概要
- 連絡会の目指すもの

# あるセキュリティ営業の苦悩

## 彼の履歴

- 2000年から大手電機でIT事業の立上に従事
- IDS、Firewall、通信ログ保存などのアプライアンス市場投入と営業・導入コンサル
- セキュリティデバイス監視サービスの立上と営業・導入コンサル
- 脆弱性DBサービスの市場投入と営業・導入コンサル
- ISMS認証取得コンサル
- セキュリティサービス立上のコンサル

セキュリティ業界で  
製品・サービス・コンサルティング  
全てやってみた

## 知識取得の暗闇・・・

- 学ぶ予算の少なさ 業務直結以外NG
  - 社内ネットワーク基礎教育 基礎知識
  - ベンダーの無料セミナー、製品トレーニング 偏り
  - 展示会 トレンド
  - OJT ?? トレーナー不在・・・
- 認定試験受講と上司とのネゴ
  - .com Master インターネット基礎知識とPCの設定等をサポート出来る能力の獲得
  - ISMS審査員 内部審査及び認証審査概念と手法の獲得
  - CISSP セキュリティ全体知識と倫理観の獲得
- でも ・ は変わらず
  - 職位・給料

## 資格取得によって変わったことは？


- 全体像を考慮での提案スキル
- 関連性を理解するスキル
- 適切な言葉、文脈で表現出来るスキル
- 顧客からの信頼度向上
- 御用聞きからパートナーへ
- 営業マンからコンサルタントへ
- 人材育成の重要性を理解

## 人財育成について業界内を見渡してみると

- セキュリティを勉強したいが予算が無い  
教育予算の削減・・・
- 上司(経営者)の理解が無い  
「それを受けたら何が出来るの？」  
「いくら儲かるの？」
- 情報が少ない  
「何から勉強すれば良いの？」

# 情報セキュリティ人材育成の現状

- 資格制度や教育が多数  
「私にはどの資格が適切なの？」
- 人材育成方法が不明確  
「セキュリティ人材ってどうやって育成するの？」
- 資格の位置づけやキャリアパス形成の共通認識  
協力体制の必要性  
「私の保有資格はどのレベルなの？」  
「CSOになるにはどうすれば良いの？」  
「資格を維持するが大変・・・」



業界横断的な協力体制の確立が必要！！

# 連絡会概要



# 名称と目的

和文 情報セキュリティ教育事業者連絡会

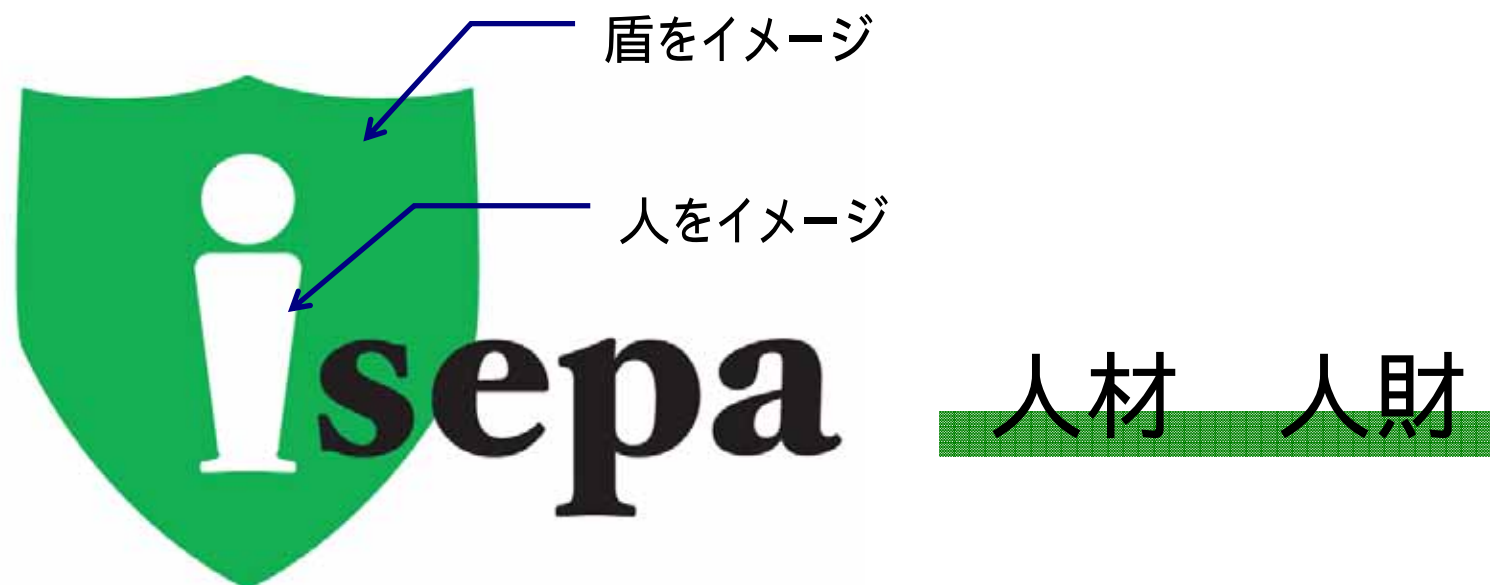
英文 Information Security Education Providers Association

略称: ISEPA

URL: <http://www.jnsa.org/isepa/>

- 情報セキュリティ人材育成を通して、より豊かな情報社会に貢献する
- 情報セキュリティ教育事業者が協業することにより、情報セキュリティ人材育成に関わる情報を広く社会に発信するとともに、人材育成の拡大に向けた様々な取組みを推進する
- 教育機関とも連携し有益なコンテンツの共同利用などを検討する

## ロゴに込めた思い

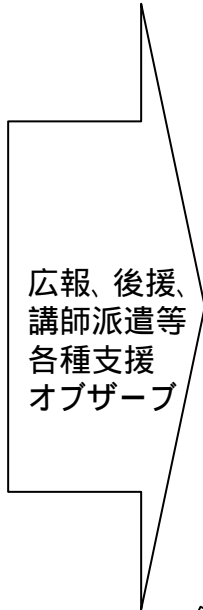


情報セキュリティを確保する為に最後の盾となるのは「人」です。  
人材育成の重要さに思いを込めてロゴを決定しました。

NISC

総務省

経済産業省



### 情報セキュリティ教育事業者連絡会

#### 参加団体

JASA SEA / J ISACA SANS (ISC)2  
CompTIA ラック ソフトピア ひょうご  
JIPDEC IAJapan IPA ISSA 等

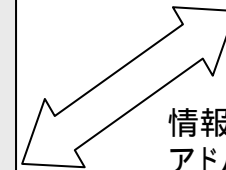
#### 活動内容(案)

普及活動、情報共有・各種提携・共通領域の策定  
分野/レベル別教育・コンサル・資格者育成/登録  
ケーススタディの蓄積 教材作成

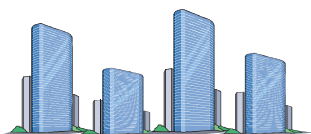
事務局: JNSA

### 教育機関

情報セキュリティ大学院大学  
カーネギーメロン大学日本校  
中央大学  
工学院大学  
サイバー大学  
東京電機大学 等



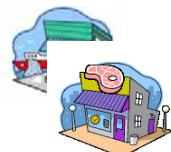
人材育成計画の支援  
人材の紹介・斡旋



政府機関・地方公共団体

企業

有資格者による  
バーチャルコンサル  
(簡易相談)



中小企業

人材育成セミナー  
カテゴリ別セミナー  
(CISO、担当者等)  
資格取得相談



セキュリティ人材候補

情報共有  
講師候補・育成  
キャリア登録



高度セキュリティ人材

・連絡会会員

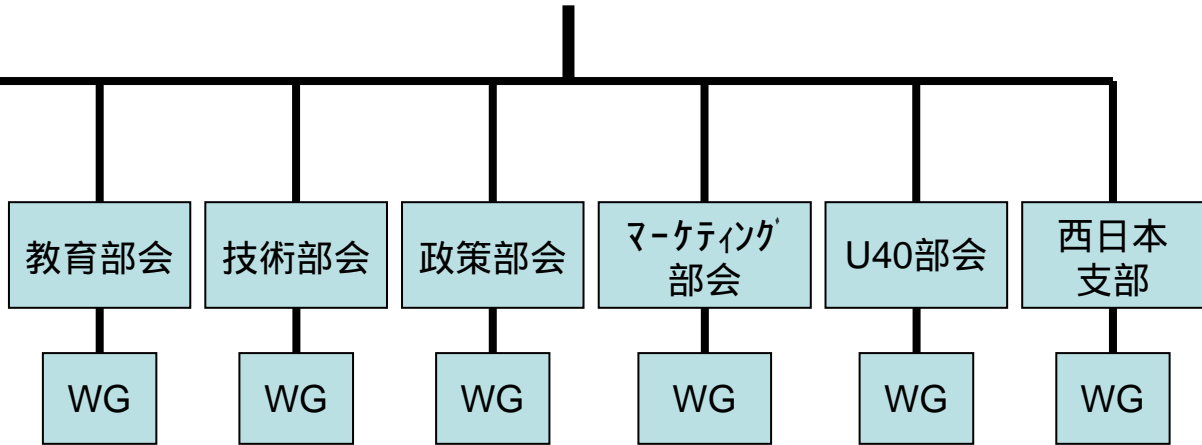
JASA           SEA/J  
NRI(SANS)   (ISC)2  
CompTIA      ソフトピア  
ひょうご     ISACA  
ラック等

情報セキュリティ  
教育事業者連絡会

事務局機能をJNSAに委託



NPO日本ネットワークセキュリティ協会



・アドバイザー 大学教授  
各大学

・オブザーバー 公的機関関係者  
総務省 経済産業省  
内閣官房情報セキュリティセンター  
JIPDEC IPA  
IAjapan ISSA

JNSA入会企業2007年8月1日現在 206社

# JNSAの協力を得て立上

## 構成

### 連絡会会員：

基本的に独自の教育コンテンツを有し事業を行っている組織を対象とします。  
連絡会運営に際し必要な実務を行う担当者をアサイン出来る事とします。

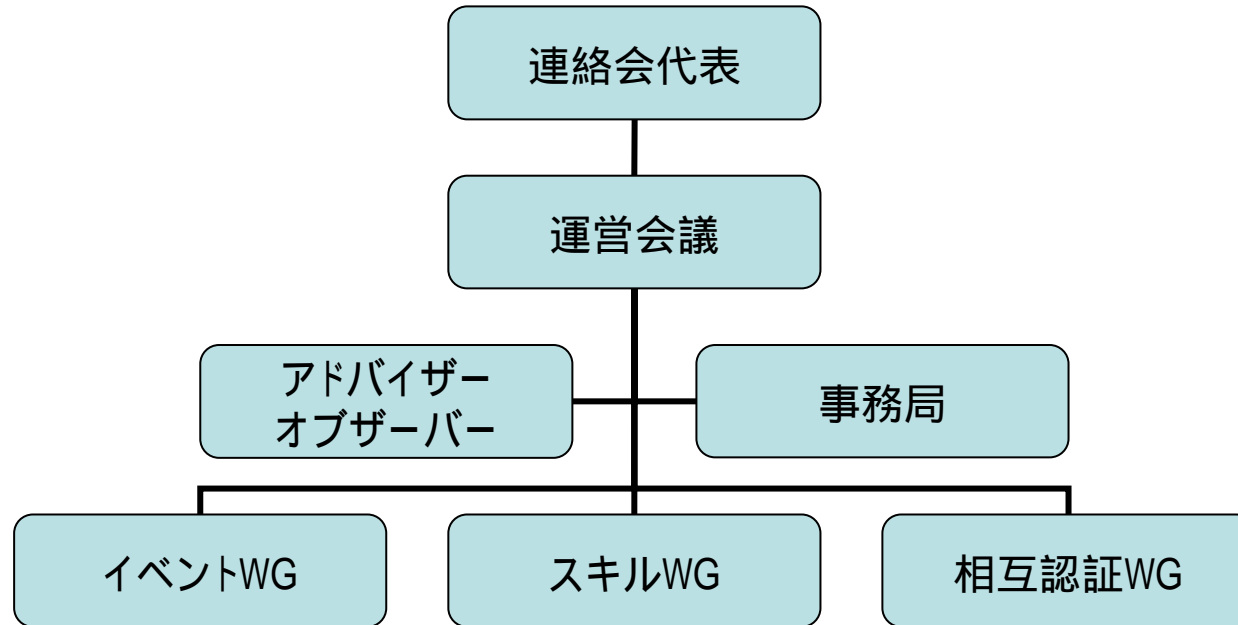
### アドバイザー：

原則として大学等の教育従事者(教授等)であり本連絡会の趣旨にご賛同頂き、適宜アドバイスを頂ける方とします。

### オブザーバー：

原則として公的機関関係者・任意団体関係者であり本連絡会の趣旨にご賛同頂き、適宜アドバイスを頂ける方とします。

# 体制



- 連絡会代表:**  
 対外的に連絡会の代表として機能し、かつ、運営会議の議長を担います。  
 株式会社ラック / (ISC)2 Japan 与儀大輔
- 運営会議:**  
 連絡会運営に関わる諸問題についての意思決定の場とし、月次の定例会を行います。  
 構成は連絡会会員が運営委員として会議に参加するものとします。  
 連絡会に関わる重要事案は全て運営会議にて方向を検討し決定するものと致します。
- 事務局:**  
 JNSA事務局が担当します。

## ワーキンググループ (WG)

連絡会で必要とされる検討や成果物作成等については会員、アドバイザー、オブザーバーによりWGを発足しテーマに基づき随時活動を行うものとし、当初は以下3つのWGから活動をスタートし、必要に応じてWGは増設します。

イベントWG

スキルWG

相互認証WG

...

各WGでは参加者を募集中

ISEPA事務局 (E-Mail: [isepa-info@jnsa.org](mailto:isepa-info@jnsa.org))まで、お問合せください。

## イベントWG

リーダー: 杉本 (ISC) 2 / サブリーダー: 吉村CompTIA

- 共同普及啓発事業
  - セミナー
  - イベント
  - Web、出版等
- イベント開催 年間3回～4回を予定
- 各組織の資格保有者数の把握、およびWeb等への掲載による公開も検討



# スキルWG

リーダー: 衣川 (ISC) 2 / サブリーダー: 長谷川 JNSA / JASA

- 人材像の検討

- 利用者から見て出来る限りダブらず、わかり易い全体体系の整理
- キャリアパスの提示 (それぞれの教育プログラムの位置関係の提示)
- 共通知識基盤の設計と共有 (広がりと深さの統一)

## スキルWG 活動 / ロードマップ

- ゴール: 情報セキュリティ人材像の分析、定義付け、キャリア直結型の人材育成マップ提示
- 活動内容:
  - 既存の人材育成に関する報告書の分析
  - 人材育成サイドのニーズの検証
  - ニーズに合わせた人材育成マップの軸確定
- 成果物イメージ:
  - 人材育成マップ(2008年2月を目途に作成予定)
    - 職種・スキル・アウトプットの関連性
    - キャリアパスの提示
    - 既存の教育・資格制度との紐付け

育成マップの中で必要とされているも既存にない教育・資格制度については相互認証WGとの連携で解を提示していく事も検討

成果物については、市場に幅広く提供し、国としての政策への取り入れなどについても働きかけを検討

# 人材育成MAPイメージ (案) <スキルWG>

職種	スキル
A	1
B	2
C	3

職種	スキル	アウト プット
A	1	ア
B	2	イ
C	3	ウ

スキルは、「何を知っているべき」を抽出する。(例) 職種Aは、暗号学とアクセス制御を知っているべき

職種	アウト プット
A	ア
B	イ
C	ウ

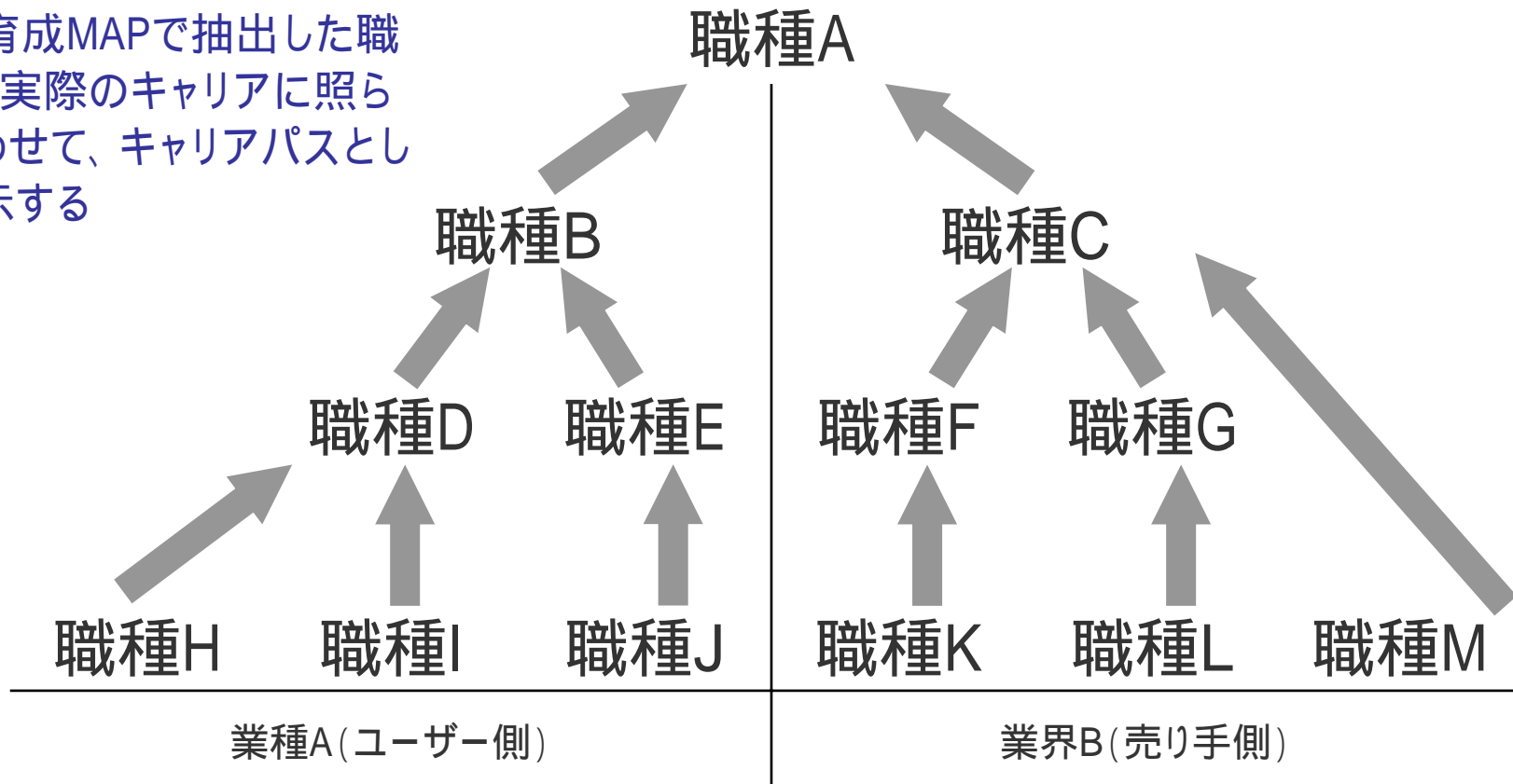
アウトプットは、「何が出来る」を抽出する (例) 職種Aは、セキュリティポリシーが作れ、社内教宣ができる

## 人材育成MAPイメージ

職種	スキル	アウト プット	教育	資格
A	1	ア	a,b	g
B	2	イ	c	
C	3	ウ	d,e,f	h,i,j

# キャリアパス イメージ (案) <スキルWG>

人材育成MAPで抽出した職種を、実際のキャリアに照らし合わせて、キャリアパスとして提示する



# 相互認証WG 活動 / ロードマップ

リーダー: 関取NRI (SANS) / サブリーダー: 小川ISACA

- ゴール: 大学を含めた各種教育プログラムの相互性を実現する事で利用者の利便性向上既存にない教育コンテンツ開発・認定や講師認定スキームの提供
- 活動内容:
  - 各資格間の資格継続プログラムの相互認証スキーム検討
  - 資格自体の相互認証 資格取得要件免除などの検討
  - 大学・大学院教育プログラムへの民間資格・教育取り入れ検討
  - JNSA教育WG連携による教育コンテンツ・講師育成 & 評価スキーム検討
  - スキルWGの成果物を踏まえた必要コンテンツ特定と開発

# 相互認証WG 活動 / ロードマップ

- 成果物イメージ
  - 資格継続プログラム相互認証リスト
    - 例1: JASAの教育と(ISC)2教育の相互CPE認
    - 例2: (ISC)2とITPC[英国政府機関で、情報セキュリティ専門家のために設けられたトレーニングプログラム・資格認定の仕組みとの相互認定
    - 例3: 認証スキームの日本国外(アジアなど)への展開
  - 資格取得要件リスト作成
    - 例: SEA/Jの上位資格保有で、SANS資格GIAC認定要件緩和
  - 大学・大学院教育プログラム採用教育・資格リスト作成
    - 例: 教育機関専門学科等へのCISSP・CAISなどの組み込み
  - プロフェッショナル講師育成 & 評価手法案
  - 新規教育コンテンツ作成

# 参加組織

2007年11月14日現在

会員	オブザーバー
(ISC)2 Japan	内閣官房情報セキュリティセンター
ISACA東京支部	総務省 情報通信政策局
NPO 日本セキュリティ監査協会 (JASA)	経済産業省 商務情報政策局
NRIセキュアテクノロジーズ株式会社 (SANS JAPAN事務局)	独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)
NPO 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)	(財)日本情報処理開発協会 (JIPDEC)
株式会社ラック	(財)インターネット協会 (IAjapan)
CompTIA Japan	ISSA (Information Systems Security Association) 東京支部
(財)ひょうご情報教育機構 (カーネギーメロン大学日本校)	
(財)ソフトピアジャパン	
SEA/J(セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン)	

## 連絡会が目指すもの

- 分かりやすい教育体系・資格制度の公開
- 求められるセキュリティ人材の安定育成への挑戦
- 情報セキュリティ人材による社会貢献のサポート
- まだ見ぬ後輩達がセキュリティ業界に夢を持てる環境構築への挑戦

セキュリティ業界にヒーローを!!



ご清聴ありがとうございました。